

# 暮らしを守る定額減税が始まりました

## 給与所得者の場合

**所得税** 6月以降の給与や賞与の源泉徴収税額から減税【右図】。引き切れなかったら減税額に達するまで順次減税

**住民税** 6月分は徴収せず。減税分を引いた年間税額を7月以降の11カ月で均等徴収

### 給与支払明細書

給与金額	×××円
源泉徴収税額	×××円
⋮	
<b>定額減税額 (所得税)</b>	<b>×××円</b>

## 年金受給者の場合

**所得税** 6月の年金支給時に減税。引き切れない分は8月以降に順次減税

**住民税** 10月分から減税し、引き切れない分は12月以降に順次減税

## 個人事業主の場合

**所得税** 原則、来年2～3月の確定申告で減税

**住民税** 6月分から減税し、引き切れない分は順次減税

**4万円を減税し切れないと見込まれる世帯**

4万円分、減税をし切れない差額を1万円単位で給付  
24年夏以降、給付開始

定額減税の仕組み

小さな声を、聴く力。公明党

春日部市議会議員くりばら信司

# くりばら通信



公明党では無料の法律相談を行っております  
お申し込み、その他、ご相談・ご要望は



# くりばら

まで

電話は 090-3476-6526

令和6年6月定例議会閉会しました。今議会では、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」による、定額減税調整給付の実施、令和5年度の国民健康保険特別会計の収支不足の補填、旧本庁舎解体工事の事業スケジュールの見直しなどの議案について審議しました。

公明党市議団としては、これからも市民の暮らしをお守りするため、さらに全力で働いてまいります。

# 令和6年6月度定例議会・一般質問より

## ①：市制20周年の迎え方について

**問** 春日部市は明年施行20周年の佳節を迎えます。大きな節目を迎えることとなります。全市を挙げ、全市民を巻き込み、未来に向け、新たな出発の年となるよう、そして市民の皆様の記憶に永遠に残るような祝賀行事にするべきとの観点で質問しました。

**答** 市の一体感の醸成と春日部市の魅力をアピールできるよう取り組む。市内に通勤、通学する人も何かしら参加出来るような機会を検討したい。市民に親しまれるロゴマークの作成などを行っていく。



## ③：浸水対策について

**問** ゲリラ豪雨という言葉が定着してから、市が行ってきた浸水対策で、近年においては具体的にどんなことを行ってきたのか、被害の軽減は図られたかどうか。また、大雨の際に宅地内に設置された下水道用マンホールの蓋を開けてしまうことで、下水道に雨水が流入してしまうことの対策について質問しました。

**答** 会之堀川などの浚渫や備後西ポンプ場の整備、雨水貯留施設の設置を行ってきました。また、汚水管渠の流下能力を越える雨水が流入することは下水道に影響を与えることから市民に注意喚起を促していきます。



## ②：公用車・EV車両のカーシェアの導入について

**問** 脱炭素社会を目指す春日部はエコ化プロジェクトを立ち上げ、EV車両の導入率を令和10年度までに20%以上の導入を目指しています。現在導入率は10%と言うことで予定通りとも言えますが、ゼロカーボンシティを目指し、たとえば30%とか40%に目標値を引き上げるべきではないか。また、部署別の稼働率を見直し、短時間リースの可能な民間業者の活用をはかると共に、市民へのカーシェアリングの導入を図るべきと訴えました。

**答** 目標達成へ計画的に導入を図ると共に、公用車の運用の効率化を図ります。カーシェアリングの導入については調査・研究していきます。

## ④：解体予定の公共施設を活用した救助訓練について

**問** 過去に夜間避難訓練、ペット同行避難訓練、着衣水難訓練を提案し、実施させて頂きました。解体予定の旧市立病院を活用した救助訓練については平成28年に取り上げました。そこで、その際の訓練の総括と今回、旧本庁舎を活用した訓練についてはどうなるのか。その際、一般市民の見学も可能にすべきではと訴えました。

**答** 解体施設という現場での訓練は危険要因の把握、安全管理体制の構築、現場活動に対応する知識や技術の向上に繋がり、大変に有意義でした。市民の見学につきましては安全に配慮した見学要項を検討します。

